

(27) 平成31年(2019年)3月16日 土

今春の大学入試では、4月に開校10年目を迎える松本市埋橋2の6年制中高一貫校・松本秀峰中等教育学校の躍進が目立っている。東京大学に現役生3人が合格したのをはじめ、難関国立大学や医学部にも合格者が相次いでいる。きめ細かな指導が実を結んだ形で、大学進学に向けた中信地区の進路選択に新風を吹き込んだといえそうだ。

松本秀峰 東大に現役3人

今春の 医学部や有名私大にも 大学入試

生を合わせた合格状況を公式ホームページ(H.P)で集計している。国立大学や慶応、早稲田など有名私立大でも合格者が相次いでい

や大阪大、名古屋大といった難関大に1人、浜松医科大学に1人が合格し、私立大も含めると延べ16人が医学部医学科を突破した。

同校生徒の大学受験は平成27年度入試から始まり、4年目を迎えた。進路指導では、習熟度別のクラス編成や日常的な個別面談といった取り組みを進めている。菱田智晴教頭は「希望の大学に合格して未来に進んでいくのは学校としてうれしい」と話している。

大学には文系最難関とされる文科一類のほか、文科三類と理科一類。国公立大の医学部医学科にも強みを見せた。信州大に3人、新潟大に2人、京都大に1人、現役合格者を輩出した。

同校は1学年80人規模で、浪人に現役合格者を輩出した。京都大